

令和元年度決算に係る  
定期監査資料

令和2年5月

鳥取療育園

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	収入証紙取扱額調べ	5 頁
7	現金の取扱状況	5 頁
8	財産に関する調べ	5 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付及び使用許可調べ	6 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	7 頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	7 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	8 頁
13	備品の処分状況調べ	8 頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	8 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
15	当該年度における業務の概要	9 頁
16	施設の利用状況	10 頁
17	児童給食状況調べ	11 頁
18	児童診療に要した時間数調べ	11 頁
19	使用料（診療費）の請求等の状況調べ	12 頁
20	主な施設の整備状況調べ	13 頁
○	意見、要望等	13 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項  
該当なし
- (2) 監査意見  
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

（令和2年4月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	
定員	10	10	7	7	0	0	17	17	
現員	( ) 10	( ) 11	( ) 8	( ) 9	( ) 0	( ) 0	( ) 18	( ) 20	育休復帰職員が過員のまま配置されたことによる。
過不足(Δ)	0	1	1	2	0	0	1	3	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	2	3	2	1	2	2	6	6	事務(事務・新1, 医師事務作業補助1), 技術(心理療法士1, 看護師新・1), 現業(調理員2) 廃止(運転士1, 医療事務1)

4 役付職員の調べ

（令和2年5月1日現在）

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
園長	稲垣 真澄		1	福祉保健部参事監
次長兼係長	松田 啓生	2	1	通算期間5年1月
課長補佐	(兼) 福田 成生	4	1	出納員 (本務) 東部振興課

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取療育園費	23,408		23,408	
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<p>本園は肢体不自由児通園施設として開所されたが、近年の支援ニーズの変化により、自閉症スペクトラム障がい等の発達障がいや言語障がい等に対する支援を行う本県東部地区療育の拠点施設としての役割も担うため、「通園事業」に加えて在宅の障がい児・者への相談支援、療育、地域の支援施設への支援等を行っており、現在では、①医療型児童発達支援センター ②児童発達支援事業所 ③医療機関(診療所) ④障がい児等地域療育支援事業の支援機関の役割をもつ施設となっている。</p> <p>※平成24年4月の制度改正により、①肢体不自由児通園施設⇒医療型児童発達支援センター、②児童デイサービス事業所⇒児童発達支援事業所と名称変更した。また令和2年2月からは保育所等訪問支援事業を新設し、多機能型となった。</p>				
(イ) 事業の実施状況				
① 医療型児童発達支援「きらり」(令和2年3月31日時点での実績)				
親子通所による肢体不自由や運動発達に遅れのある未就学児への療育及び保護者への育児支援(昭和50年開始)				
実施日	〔月～金〕10:00～14:00			
実人数	11人	延べ人数(児のみ)	695人	
スタッフ	医師、保育士、児童指導員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、心理療法士			
1日利用料	(肢体不自由児)452円 (重症心身障害児)561円			
② 児童発達支援「エルマー」(令和2年3月31日時点での実績)				
親子通所による自閉スペクトラム症等発達障がいのある未就学児への療育及び保護者への育児支援(平成19年開始)				
実施日	〔火・木〕9:30～11:00、14:30～16:00			
実施回数	157回	実人数	10人	延べ人数(児のみ) 330人
スタッフ	保育士、児童指導員、作業療法士、言語聴覚士、地域の保護者(ピアカウンセリングの進行を依頼)、医師、心理療法士			
利用料	1,003円			
③ 外来診療				
【小児科外来診療】				
予約制による発達外来				
<p>平成17年度に常勤の医師1名(園長)が配属されたことから外来診療を開始した。診断・相談ニーズの顕在に伴い、受診者・相談者が増え続けたが、初診予約は初診枠を増やしたことで、現在では約1～2か月待ち程度で安定して推移している。再診予約は約6か月先まで一杯の状況が続いている。外部医師の協力を得て事業を実施している。</p>				
実施日	〔月・金〕8:30～14:30 〔火・水・木〕8:30～17:00			
延べ人数	6380人			
スタッフ	医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理療法士			

④障がい児等地域療育支援事業

○施設支援一般指導事業

医師、保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等多職種の職員が地域の保育所・幼稚園、特別支援学校、小学校等に出向いて、児童の支援に関わるスタッフに技術等を助言した。

【施設支援】

実施回数(出向数)	109回	機関数	40機関	対象人数(延)	121人
スタッフ	医師、保育士、児童指導員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士				

○地域療育担当支援員設置事業

地域療育担当支援員が、相談のあった障がい児に対して各関係機関との連携・調整をとりながら、対象者のニーズに即した支援を行う。また、地域療育に携わる関係機関職員及び保護者等の資質向上を図るとともに、地域療育そのものの水準を高めていくためにセミナー実施した。

【地域療育セミナー】

実施回数	1回(11月24日開催)	受講人数	73人
スタッフ	医師、児童指導員、保育士		
テーマ	「地域で暮らそう、遊ぼう、学ぼう ～個性輝くとっりの保育とは～」		
開催場所	さざんか会館5階 大会議室		

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- (ア) 医療型児童発達支援「きらり」においては、幼稚園や保育園に就園された方を対象に保護者や受け入れ園の不安が軽減するよう半年間有期限のフォローアップ教室を立ち上げ、平成30年度に続き常時人工呼吸器を使用している超重心児の就学支援を関係機関と密な連携を図り支援する等、地域移行に力を入れ取り組んだ。好評だった保護者交流会に加えて兄弟児支援の一環として夏休み期間を利用して「家族参観日」と称して兄弟にも活動参加し兄弟児の横のつながりのきっかけづくりを行った。
- (イ) 児童発達支援「エルマー」においては、近年の状況として、エルマー卒業後のフォローアップ体制の充実が望まれる中、エルマー卒業後の1年生親子を対象としたフォローアップ活動を定期的に継続し行った。また、園内他部署とも連携を図り検討したことで、施設支援等の掘り起こしにつながり、地域に出掛け関係機関への後方支援を行うことにつながった。
- (ウ) 外来診療では、初診枠を週4枠維持することで、初診の診察待ち期間の解消を図っている。利用者数の増加に伴い再診枠が不足する傾向にあり、正規診察枠以外の児童発達支援のカンファレンス用の枠、回診枠等の一部を診察枠として確保し、対応する必要があった。これまでの受理会議と外来フォローミーティングに代わりに立ちあげられた方針支援検討会議(P会)にて、初診に向けた情報共有と現在リハビリ実施中の対象児の今後の方向性についてチームで検討することで外来児童の支援体制の幅が広がった。医療専門職を中心とした係編成へ変更され、スタッフが専門性を持ち横断的に業務を行いながら、多職種、他機関への伝達などアウトリーチ的な役割も果たすために取り組んだ。施設支援に加え、外来療育、訪問療育を実施し、学校や訪問リハビリスタッフとの支援の共有、家庭内での支援の検討等を行った。東部小児リハビリテーション研修会を継続実施。当園で実施している評価の方法伝達や当園以外の施設で研修会を実施した。他機関所属医師の協力により、月1回の装具外来を継続実施。各児の身体や成長に合わせた補装具の作成・調整を行った。保護者アンケートを実施し、使用している補装具やその他の情報収集を行った。

## ウ 成果及び効果

- (ア) 医療型児童発達支援「きらり」では、超重心児の就学支援にあたり鳥取養護学校と情報を共有し対象児の生活評価や個別配慮について支援内容を深めることができ、共通のアセスメントツールを用いて現状を共有し、学習カリキュラムを見直し個別性に即した支援ができるように見直していただくことができた。フォローアップ教室や家族参観日は保護者にも好評で今後も継続したいと考えている。
- (イ) 児童発達支援「エルマー」では、利用保護者を対象とした自己評価を実施し、今年度も全体的に高い評価をいただいた。また、エルマー卒業生のフォローアップ方法を検討し、保護者ニーズの多様化に応じたフォローアップ内容に取り組み、園内での卒業生親子の受入れ活動や、学童期の支援現場（小学校、放課後等デイサービス事業所等）に出向いてのアウトリーチ型支援で実績をあげた。
- (ウ) 外来診療については、方針検討会議で支援の方向性を検討することで、多職種の目線で支援のあり方が整理できた。そのため診察待ち期間は初診で1～2か月前後、再診で5～6か月待ちで推移した。正規診療枠以外の枠を昨年度以上に増やして診療を行うことで、必要な再診ニーズに対応することができた。施設支援・外来療育・訪問療育の実施により、関係機関との情報共有、児の生活場面での支援の検討を行った。東部小児リハビリテーション研修会では使用している評価方法を共有し、他施設で実施した結果を振り返る機会を作った。他施設で研修会開催し他施設を知る機会を持った。装具外来対応枠を明確化し、安定的に実施できている。保護者アンケートを引き続き実施した。
- ごきげん子育て教室（ペアトレ）は、前期・後期ともに利用者のニーズに答えている。

## エ 課題

- (ア) 多職種の強みを生かした組織改編と個々のスキルアップ促進  
外部医師の協力を得て事業を実施しているが、安定した事業運営のためには医師に頼らない持続可能な事業計画が必要であると考えている。医療職と福祉職が多職種で配置されている当園の強みを活用しながら、職員個々のスキルアップを図り、互いの専門性を理解して支援に取り組める相談体制の更なる充実が喫緊の課題である。そのために必要な内部組織の改編を行い、診察前の相談体制の充実を図りたい。
- (イ) 地域連携の強化  
近年、地域での発達支援が徐々に推進されており、保育園・幼稚園での発達障がい特性理解の深まりと特性に合った保育方法が実践されている中、より質の高い療育が当園にも期待されている。そのため、地域の保育士・幼稚園教諭を対象とした「支援ツール研修会」開催や保育所等を訪問して指導助言を行う「施設支援」の更なる周知徹底と充実を図りたい。また、子ども発達支援課の県単独事業（発達障がい地域支援マネージャー導入）と連携しながら、東部圏域の市町の母子保健担当保健師とも協力し、エルマー利用前（乳幼児健診等の発見機会）からの取り組みや、エルマー終了後（就学後）のフォローアップの充実を図りたい。また、保育所等訪問支援事業を新規事業として立ち上げたことも今後の強化策の一つとしたい。
- (ウ) 外来診療について、再診における診察待ちが5～6か月待ちで推移。10月には年度内の診察枠は全て埋まる現状がある。正規枠以外に枠を昨年度以上に増やして診療を行うことで、必要な再診ニーズに答えようと取り組んだが、再診のご希望に添えないことも増えた。

6 収入証紙取扱額調べ  
有 ・ **無**

7 現金の取扱状況

ア現金取扱状況

(令和2年3月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
児童福祉使用料	1,805,590円	3,698件	医療費一部負担金など
児童福祉手数料	784,980円	327件	診断書料など
雑入	130円	1件	コピー代
合計	2,590,700円	4,026件	

イ 釣り銭の状況

(令和2年3月31日現在)

釣り銭の有無	有	釣り銭の額(円)	30,000
--------	---	----------	--------

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)		価額 (円)
行政 財産	鳥取療育園	鳥取市江津260	845.99	158,864,455	増加 減少	H H				H H	845.99	158,864,455	
計			845.99	158,864,455							845.99	158,864,455	
合計			845.99	158,864,455							845.99	158,864,455	

ウ 山林 該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況  
有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和2年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
枚 21	枚 0	枚 6 円 9,510	枚 15

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物 該当なし

(2) 物品 該当なし

10 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況			借受先	備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円)		
							単価	本年度の借料	
土地	宅地	鳥取療育園	鳥取市江津 730番地	2,014.2 ㎡	無	R2.3.5 ~ 無期限	月額・年額  0	鳥取市江津730 鳥取県立中央病院長	中央病院と覚 書を交換予定
合計							0		

11 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

1 2 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

1 3 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分				備 考
			売 払 棄 却 の 別	売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日	売 払 額 ・ 処 分 費 用	
乗合自動車 (マイクロバス)	H16.3.31	R2.1.8	売却	インターネット 公有財産売却	R2.3.16	円 758,800	
合 計						円 758,800	

1 4 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ  
有 ・  無

(2) 物品の照合  
 有 ・ 無

## 療育園個別事項

### 15 当該年度における業務の概要

#### (1) 医療型児童発達支援

「5 主な事業に関する調べ」に記載。

#### (2) 児童発達支援

「5 主な事業に関する調べ」に記載。

#### (3) 外来診療

##### ア 小児科外来診療（発達外来）

「5 主な事業に関する調べ」に記載。

##### イ ごきげん子育て教室

AD/HD児（幼児～小学校低学年）等の保護者を対象にペアレント・トレーニング  
5回コースを上・下半期に2度実施

実施回数	10回（5回×2）	実人数	5名
スタッフ	医師、心理療法士、児童指導員、助言者		

※AD/HD…注意欠如多動症

#### (4) 障がい児等地域療育支援事業

##### ア 施設支援一般指導事業

施設支援 「5 主な事業に関する調べ」に記載。

##### イ 地域療育担当支援員設置事業

(ア) 地域療育セミナー 「5 主な事業に関する調べ」に記載。

##### (イ) 支援ツール研修会

幼稚園、保育所等の関係機関の職員を対象に発達障がい児の支援方法に関する研修会を開催

【令和元年度開催状況】（令和2年3月31日現在）

開催回数	5回
定員	10人（1回あたり）
受講人数 （延）	48人
開催場所	鳥取療育園分室

16 施設の利用状況

(1) 月別入退園調べ

(単位：人) (令和 2年 3月 31日現在)

区分	前年度 3月末 現在	入退園の状況														年度末 現在
		入退 園の 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	入退園 合計	
男	8	入園	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
		退園	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	5	
女	6	入園	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	4	7
		退園	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3	
計	14	入園	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	5	11
		退園	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	5	8	

(2) 市町村別在園児童数

(単位：人) (令和 2年 3月 31日現在)

区分	鳥 取 市	岩 美 町	新 温 泉 町														合計
男	3	0	1														4
女	7	0	0														7
計	10	0	1														11

(3) 年齢別在園児童数

(単位：人) (令和 2年 3月 31日現在)

区分	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳	17 歳	18 歳	計
男	1	1	1	0	1														4
女	2	1	1	2	1														7
計	3	2	2	2	2														11

(4) 児童退園の状況

(単位：人) (令和 2年 3月 31日現在)

区分	施設入所	保育所入所	その他	合計
男	1	3	1	5
女	0	1	2	3
計	1	4	3	8

(5) 障害等級別年齢別児童数

(単位：人) (令和 2年 3月 31日現在)

区 分	1 級	2 級	3級以下	手続き中	未所持	計
0～3歳	1	1			4	6
4～6歳	5	0				5
7～9歳						
10～12歳						
13～15歳						
16歳～						

(6) 病類別・年齢別児童数 (単位：人) (令和 2年 3月 31日現在)

区 分	脳性まひ	遺伝子病・ 染色体異常	発達障がい	その他		計
0～3歳	0	4				4
4～6歳	3	3		1		7
7～9歳						
10～12歳						
13～15歳						
16歳～						

17 児童給食状況調べ (単位：食) (令和 2年 3月 31日現在)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
昼 食	29	47	62	42	14	48	62	52	40	42	32	0	470

18 児童診療に要した時間数調べ (単位：時間) (令和 2年 3月 31日現在)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
医 師	158	195.5	180.5	245.5	186.5	205.5	206.5	199	215	202	201.5	125.5	2,321
理学療法士	106.5	134.5	127	130	112.5	95	108	108	114.5	95	101	63	1,295
看 護 師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	264.5	330	307.5	375.5	299	300.5	314.5	307	329.5	297	302.5	188.5	3,616

19 使用料（診療費）の請求等の状況調べ

（単位：円）（令和2月3月31日現在）

区分	社会保険診療報酬支払基金					国民健康保険団体連合会					計					補装具 被保険 者負担	合 計
	請求額	返戻	増	減	調定額	請求額	返戻	増	減	調定額	請求額	返戻	増	減	調定額		
4月	1,070,419	4,500		24,507	1,045,912	173,811	0		0	173,811	1,244,230	4,500		24,507	1,219,723	99,520	1,319,243
5月	(15,377) 1,058,982	0		0	1,058,982	(4,630) 184,319	0		10,089	174,230	(20,007) 1,243,301	0		10,089	1,233,212	116,520	1,349,732
6月	1,045,951	4,437		5,265	1,040,686	138,516	0		0	138,516	1,184,467	4,437		5,265	1,179,202	156,440	1,335,642
7月	1,138,538	0		5,740	1,132,798	191,094	0		6,100	184,994	1,329,632	6,100		11,840	1,317,792	180,950	1,498,742
8月	(6,595) 1,095,526	0		4,437	1,091,089	170,348	0		4,400	165,948	(6,595) 1,265,874	0		8,837	1,257,037	136,660	1,393,697
9月	(13,274) 1,423,581	8,874		10,332	1,413,249	223,385	4,630		4,630	218,755	(13,274) 1,646,966	13,504		14,962	1,632,004	162,440	1,794,444
10月	(14,962) 1,142,814	60,060		0	1,142,814	203,632	0		0	203,632	(14,962) 1,346,446	60,060		0	1,346,446	210,990	1,557,436
11月	1,311,524	41,760		0	1,311,524	237,283	0		0	237,283	1,548,807	41,760		0	1,548,807	159,000	1,707,807
12月	1,132,996	6,942		0	1,132,996	227,375	0		0	227,375	1,360,371	6,942		0	1,360,371	159,280	1,519,651
1月	1,105,631	10,162		0	1,105,631	194,965	0		0	194,965	1,300,596	10,162		0	1,300,596	110,440	1,411,036
2月	1,269,536	0		9,860	1,259,676	180,701	0		171,650	9,051	1,450,207	0		181,510	1,268,727	170,860	1,439,587
3月	1,149,711	6,496		40	1,149,671	188,600	0		0	188,600	1,338,311	6,496		40	1,338,271	200,900	1,539,171
計	(50,208) 13,945,209	143,231		60,181	13,885,028	(4,630) 2,314,029	4,630		196,869	2,117,160	(54,838) 16,259,208	153,961		257,050	16,002,188	1,864,000	17,866,188

（ ）は再請求分で内数

20 主な施設の整備状況調べ

(令和2年3月31日現在)

施設名	取得・造成・新築・改築・修繕等の別	面積 又は 数量	取得等の年月日 ・ 工事期間	金額	備考
鳥取療育園新園舎	改築	2,014.2 m <sup>2</sup>	平成30年12月6日 ～ 令和元年12月28日	円 306,449,781	中央病院旧外来棟の一部を改修し、病院局から無償貸与を受け利用 ※主管課(子ども発達支援課)予算で執行

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

- ・当園では多職種の職員がおり、福祉職(児童指導員、保育士)と医療職(看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)の中での女性職員の占める割合が多い。職員の育児中、産休・育休中の代替職員の配置については人材の確保が難しく、今年度は育休復帰職員が過員のまま配置になっているが、育休後の部分休業等の取得に配慮しながら業務運営している現状がある。
- ・鳥取看護専門学校(医療政策課)との事務係長兼務状態は、以前から円滑な業務に支障があり、今年3月の中央病院旧外来棟への移転後は建物自体が離れていることから、その状況は増々顕著になっており、子ども発達支援課へは専任事務係長としたいことを要望している。

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし